

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ

「多様性」と「可能性」へのチャレンジ



宮崎県商工観光労働部観光経済交流局 オールみやざき営業課 上谷 和明

青天の霹靂

行政経験も少なければ海外志向も語学能力もなかった自分にとって、クレアへの派遣は間違いなく人生のターニングポイントです。そして、3年間の研修期間中に何事にも代えがたい多くの経験ができたのは、派遣元や家族、上司の方々を含めたクレアの職員の皆様など、多くの方々の支援があったからであり、何よりも全国から派遣され苦楽を共にした同僚の存在が大きかったです。ここで得られた繋がりは一生の財産になるのだと確信しています。

多様性と可能性に溢れた ASEAN

東京本部では、国内のインバウンド誘致に関する事例を集めた Web サイトの運営や日本の自治体職員を中国や東南アジアに短期間派遣する事業などを担当していました。また、シンガポール事務所では、担当国であったインド・スリランカへの出張やフィリピンでの自治体職員向けセミナーの開催、日本インドネシア国交樹立 60周年記念イベントでの出展やシンガポールでの高千穂夜神楽公演等々、自治体の活動支援も含め、さまざまな事業に携わらせていただきました。



日本インドネシア国交樹立 60周年記念事業で宮崎県を PR

それらの事業や日々の生活、あるいはシンガポール宮崎県人会の皆さんとの交流などを通じ、ASEAN や南西アジアの国々は、人口や経済規模、文化や宗教などがそれぞれ異なり、「多様性」と「可能性」に溢れていると強く感じました。そして、そういった国々を舞台に、自県も含めたさまざまな自治体や民間企業が、さまざまな戦略をもって果敢にチャレンジしていることを実感しました。

「世界の中の宮崎」を目指して

宮崎に戻ってからは、JET プログラムや各国大使館・総領事館からの表敬訪問の対応などを担当したほか、2020年度は、直接的な往来はできなかった台湾・ベトナムとの交流に加え、外国人住民の方向け相談窓口の運営や日本語教育関連の事業を担当しています。宮崎で生活する外国人住民の方々が、少しでも宮崎の暮らしやすさや楽しさを感じられるように、「外国人」として生活した自分の経験や感覚を各事業の推進に生かしていきたいと思っています。

近年、宮崎県においても、急速に、かつさまざまな分野で国際化や多様化が進んでいます。そして、新型コロナウイルス感染症の影響で、社会のあらゆる所で変化が生じ、変革が迫られています。今後ますます多様化が進む中で、明るい可能性を見出して「世界の中の宮崎」の存在感を高めていくために、引き続き日々の業務に邁進していきます。

プロフィール・ほか

- 所属：宮崎県商工観光労働部観光経済交流局
オールみやざき営業課国際交流・旅券担当
- クレア時代の所属：
2016年4月～2017年3月
東京本部交流支援部経済交流課
2017年4月～2019年3月 シンガポール事務所
2019年4月～現職